

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【公開番号】特開2013-13724(P2013-13724A)

【公開日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-004

【出願番号】特願2012-144875(P2012-144875)

【国際特許分類】

**A 6 1 B 5/055 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月19日(2015.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

磁気共鳴撮像(MRI)システム向けの傾斜コイル装置(304)であって、  
 内側傾斜コイルアセンブリ(324)と、  
 内側傾斜コイルアセンブリの周りに配置されかつ外側表面と第1の端部(344)及び  
 第2の端部(346)とを有する外側傾斜コイルアセンブリ(326)と、  
 外側傾斜コイルアセンブリの前記第1の端部(344)の外側表面の周りに配置させた  
 第1の能動型力均衡化コイル(352、354)と、  
 外側傾斜コイルアセンブリの前記第2の端部(346)の外側表面の周りに配置させた  
 第2の能動型力均衡化コイル(352、354)と、  
 を備え、  
 前記第1及び第2の能動型力均衡化コイル(352、354)がオーバーラップしない  
 傾斜コイル装置(304)。

【請求項 2】

磁気共鳴撮像(MRI)システム向けの傾斜コイル装置(404)であって、  
 内側傾斜コイルアセンブリ(424)と、  
 内側傾斜コイルアセンブリの周りに配置されかつ外側表面、第1の端部(444)及び  
 第2の端部(446)を有する外側傾斜コイルアセンブリ(426)と、  
 外側傾斜コイルアセンブリの第1の端部(444)の外側表面の周りに配置させ  
 した第1の受動型導体ストリップ(470)と、  
 外側傾斜コイルアセンブリの第2の端部(446)の外側表面の周りに配置させた第2  
 の受動型導体ストリップ(472)と、  
 を備える傾斜コイル装置(404)。

【請求項 3】

前記第1の受動型導体ストリップ(470)は、外側傾斜コイルアセンブリの第1の端  
 部(444)に加わる半径方向力を相殺するように構成されている、請求項1または2に  
 記載の傾斜コイル装置。

【請求項 4】

前記第2の受動型導体ストリップ(472)は、外側傾斜コイルアセンブリの第2の端  
 部(446)に加わる半径方向力を相殺するように構成されている、請求項1乃至3のい

いずれかに記載の傾斜コイル装置。

【請求項 5】

前記第 1 の受動型導体ストリップ ( 4 7 0 ) は、外側傾斜コイルアセンブリの第 1 の端部 ( 4 4 4 ) 上の高い漏れ磁場を有する箇所に位置決めされており、

前記第 2 の受動型導体ストリップ ( 4 7 2 ) は、外側傾斜コイルアセンブリの第 2 の端部 ( 4 4 6 ) 上の高い漏れ磁場を有する箇所に位置決めされている、請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の傾斜コイル装置。

【請求項 6】

前記第 1 の受動型導体ストリップ ( 4 7 0 ) の位置は、外側傾斜コイルアセンブリの第 1 の端部 ( 4 4 4 ) 上の力分布に基づいており、

前記第 2 の受動型導体ストリップ ( 4 7 2 ) の位置は、外側傾斜コイルアセンブリの第 2 の端部 ( 4 4 6 ) 上の力分布に基づいている、請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の装置

。